

令和3年度 定時評議員会

令和3年6月15日(火)に開催を予定しておりました令和3年度定時評議員会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み書面による開催といたしました。

各評議員に対し、報告事項として令和2年度事業報告、評議員選定委員会において選定された評議員の報告、そして協議事項として令和2年度会計決算、役員を選任について提案し、評議員全員より同意書の提出を受け、それぞれ承認・選任されました。

また、定時評議員会において令和3・4年度の役員が選任されたことを受け、令和3年6月29日(火)に第2回理事会が開催され、荒川新会長をはじめ、副会長・専務理事の選定及び業務執行理事の選定並びに業務分担等の役員人事や、各常置委員会等の委員及び委員長を選任等の重要案件を審議し、決定いたしました。

併せて、定時評議員会の終結をもって退任されました堀達也前会長を名誉会長へ推挙するとともに、大野憲義前監事、坂本和彦前専務理事がそれぞれ参与に推挙され、承認されました。(評議員及び役員については次頁に記載の通り)

平成12年の就任から21年もの長きにわたり本会会長としてご尽力いただきました堀名誉会長に対し、この場をお借りいたしまして心より感謝申し上げます。



堀名誉会長を囲んで

会長就任挨拶

本年6月の役員改選において、新たに会長に選任されました荒川裕生です。

これまで11期21年にわたり道体育協会、スポーツ協会を牽引していただいた堀前会長の後任として、微力ながら、本道スポーツ振興のため努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、各種大会の運営など道内スポーツ界にも大きな影響を及ぼしているコロナ禍のもとで、困難な状況に全力で対応されている加盟団体の皆様方のご苦労に心から敬意を表する次第です。

一方、このパンデミックの中で東京オリンピック・パラリンピックが実現し、日本選手団の活躍が私たちに大きな力を与えてくれました。とりわけ多くの道産子選手の大活躍は、ご本人、ご家族とともに、地域や競技団体の方々のたゆまぬご努力の賜物であり、スポーツ振興の大切さを改めて実感したところです。

そして必ずやってくるアフター・コロナにおいては、地域の活力を取り戻すため、元気の源である「スポーツの力」が欠かせません。未来を託す子どもたちが心身ともに健康で成長し、より多くの若者がトップアスリートを目指していく上で、指導者の養成と競技人口の拡大がこれまで以上に重要です。また、女性の活躍や多様性を認め合える組織づくりなどもスポーツ界に課せられた命題です。

このため、私としては、これまでの実績をしっかり引き継ぎ、本会役職員並びに加盟団体の皆様と力を合わせ、北海道のスポーツ振興を推進してまいりますと存じます。

皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



荒川会長と鈴木知事

令和3・4年度 役員等一覧

● 理事

自: 令和3年度定時評議員会終結時 至: 令和5年度定時評議員会終結時

氏名	選出母体	氏名	選出母体
荒川 裕生	学識経験者	祖根 裕己	水 泳
生島 典明	学識経験者	鷺津 裕美	サッカー
森野 和泰	学識経験者	津軽 敦志	ラグビーフットボール
宇佐美暢子	学識経験者	青木 哲也	トライアスロン
笠師久美子	学識経験者	北村 優明	バドミントン
高野 瑞洋	学識経験者	雨尾 保典	フェンシング
山内 千壽	後志管内	釜澤 大毅	柔 道
極權 忠男	渡島管内	高橋 毅	ダンススポーツ
伊端 隆康	留萌管内	駒井 博和	学校体育団体
川岸 仁	十勝管内	青木 喜満	学識経験者
川島 行雄	札幌市	吉田 聡美	学識経験者
松岡 尚幸	スキー	高間 亨	学識経験者
宮越 武志	カーリング		

● 監事

自: 令和3年度定時評議員会終結時 至: 令和7年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
太田 三夫	学識経験者
渋谷 研一	学識経験者
河崎 正紀	学識経験者

● 会長・副会長・専務理事の業務分担

自: 令和3年度定時評議員会終結時 至: 令和5年度定時評議員会終結時

役職	氏名	理事区分	分担業務
会 長	荒川 裕生	代表理事	
副 会 長	生島 典明	代表理事	法人運営全般・スポーツ少年団
副 会 長	森野 和泰	業務執行理事	競 技 ス ポ ー ツ
副 会 長	宇佐美暢子	業務執行理事	生 涯 ス ポ ー ツ
副 会 長	笠師久美子	業務執行理事	上記以外の会務に関すること
専 務 理 事	高野 瑞洋	業務執行理事	日常会務・事務局運営・指定管理業務

● 評議員

自: 令和元年度定時評議員会終結時 至: 令和5年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
松本 博樹	石狩管内
鎌田 誠	空知管内
金子 剛	檜山管内
小瀧 健二	日高管内
長尾 保廣	留萌地方
前田 敏彦	網走管内
足立 功一	釧路管内
長澤 茂嗣	札幌市
梅谷 正	スケート
小野 丘	カーリング
佐藤 幹夫	ラグビー
鎌田 英暢	軟式野球
倉知 敏博	アーチェリー
酒井 和彦	自 転 車
石井 昭彦	山 岳
豊岡 正康	トライアスロン
印藤 智一	バレーボール
北里 嘉則	卓 球
白神 治	相 撲
長谷川航三	空 手
畠山 政則	ゲートボール
渋谷 年通	ダンススポーツ
森 修二	学識経験者
小野塚 勝	学識経験者

自: 令和3年度定時評議員会終結時 至: 令和7年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
田中 勝義	後志管内
伊藤 清光	渡島管内
本間 貞樹	胆振管内
高瀬 善朗	上川管内
岡谷 繁勝	宗谷管内
阿部 一洋	十勝管内
松岡 憲二	根室管内
瀧澤 明博	バイアスロン
岩倉 圭彦	アイスホッケー
越山 賢一	サッカー
山口 敬	ホッケー
渡辺はるみ	ソフトテニス
寺村 健人	ソフトボール
佐藤 克己	バスケットボール
平山 三城	バドミントン
平澤 光志	レスリング
山崎真由美	トランポリン
松本 金蔵	銃 剣 道
白戸 淳一	少林寺拳法
小島 秀俊	ミニバレー
信原 靖	オリエンテーリング
松本 勉	雪 合 戦
木村 由久	学校体育団体
山本 理人	学識経験者
甲谷 恵	学識経験者

第38回 公益財団法人 北海道スポーツ協会表彰

第38回北海道スポーツ協会表彰は10団体・30個人を表彰しました。

残念ながら昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により表彰式の挙行は中止となり、受賞者の皆様へは記念品をそれぞれ送らせていただきました。

主な受賞者は、個人では2020年天皇杯全日本選手権大会 男子グレコローマンスタイル63kg級で優勝した清水賢亮選手、団体では第76回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会で18連覇を果たした少年男子チームなど、全国的なスポーツ競技において特に優秀な成績を修めた団体・個人の方々となっています。

また、多年にわたりスポーツの普及振興に寄与した方、スポーツ指導者として功績のあったの方々についても表彰いたしました。

受賞者一覧 (敬称略)

詳細はホームページ <http://www.hokkaido-sports.or.jp> をご覧ください。

1 多年にわたりスポーツの普及振興に寄与し、その功績の顕著な者、又は団体

(1) 加盟競技団体役員

新家 加代子/五十嵐 孝治/黒田 謙二/佐々木 幸治/鈴木 重男/高田 昌浩/平野 隆雄/湯田 和男

(2) 加盟地方団体役員

猪股 浩徳/大野 清治/大森 智/作田 重行/仲条 和正/前田 清貴/宮下 美佐江/森田 精一/柳原 正明/脇山 忠

2 国際的又は全国的なスポーツ競技において特に優秀な成績を挙げ、その功績の顕著な者、又は団体

(1) 個人

市村 柗人/宇佐見 鈴音/小池 駿介/清水 賢亮/瀬川 瑠奈/時安 清貴/中村 燮太/中村 正幹/山中 新汰/山本 悠乃

(2) 団 体

〈帯広三条高等学校スケート部男子チーム〉 齊藤 幸哉/桐木 風詩/大道 琉之介/國井 悠生/太田 理登/笠原 光太郎/阿部 心哉/時安 清貴/佐藤 太陽/藤田 耀司/浪岡 大裕/滝吉 勇翔 〈帯広三条高等学校スケート部男子バスケ部チーム〉 齊藤 幸哉/笠原 光太郎/時安 清貴 〈白樺学園高等学校スケート部女子2000mリレーチーム〉 久保 杏奈/中西 琴菜/堀川 桃香/荒木 美優 〈白樺学園高等学校スケート部男子2000mリレーチーム〉 高橋 海

翔/大柳 幸佑/軍司 一牙/山本 悠乃 〈第76回国体アイスホッケー少年男子チーム〉 梯 航輔/長崎 凌大/佐々中 学人/斉藤 輝/根本 怜汰/時田 峻亮/馬場 柗爾/大久保 雅人/大友 宏太/夏野 晃輔/亀本 純門/沼田 陸/茶木 優汰/佐々木 有弥/種市 悠人/堤 虎太郎 〈第76回国体アイスホッケー成年男子チーム〉 山口 連/高橋 勇海/佐藤 光/横山 恭也/牧口 大樹/大場 大/青山 大基/阿部 魁/坂本 颯/脇本 直道/金子 立樹/小原 卓朗/村上 亮/岩槻 翔梧/山野下 元氣/今野 友尋 〈第76回国体スケート成年女子2000mリレーチーム〉 桑原 僚己/林 海玖/久保 純奈/宇佐見 鈴音 〈第76回国体スケート成年男子2000mリレーチーム〉 大島 颯己/大和田 司/中村 隼人/藤野 裕人 〈武修館高等学校アイスホッケー部〉 渡邊 周/大塚 一佐/有馬 龍太/三上 晃生/手塚 隼人/鍛冶 優将/葛西 純昌/五月女 響/大和 純也/赤澤 朋哉/石井 楓馬/山崎 創也/佐々木 宥弥/堤 虎太郎/種市 悠人/高秀 稜/清水 朝陽/村瀬 鼓太郎/小川 唯人/西脇 颯/辻 崇太郎/関 琉翔

3 スポーツ少年団活動において、功績の顕著な者、又は団体

(1) 個人

有田 勝彦/垂水 清利

(2) 団 体

中標津スキースポーツ少年団





2020東京オリンピック・パラリンピック

新型コロナウイルス感染症拡大により1年間延期となっていた「2020東京オリンピック」が7月21日から8月8日の19日間で、「2020東京パラリンピック」が8月24日から9月5日の13日間の日程でそれぞれ開催されました。

オリンピックではソフトボールの山本優選手(札幌市出身)が13年越しの連覇を果たして金メダルを獲得するなど、本道出身または本道を拠点に置く選手として3名の金メダリスト、4名の銀メダリスト、2名の銅メダリストが誕生しました。

また、パラリンピックでは、車いすラグビーの池崎大輔選手(函館市出身)が2大会連続で銅メダルを獲得しました。

コロナ禍といういつもとは違う環境の中、北海道そして日本を代表して競技に挑み私たちに感動を与えてくれた選手の皆さんに心から敬意を表します。

	金メダル ■野球 伊藤 大海(鹿部町) 近藤 健介(千葉市緑区) ※北海道日本ハムファイターズ所属 ■ソフトボール 山本 優(札幌市)	銀メダル ■バスケットボール 東藤なな子(札幌市) 町田 瑠唯(旭川市) 長岡萌映子(浦河町) ■スケートボード 開 心那(倶知安町)	銅メダル ■バドミントン混合ダブルス 東野 有紗(岩見沢市) ■卓球男子団体 丹羽 孝希(苫小牧市)
	5位 ■バドミントン女子ダブルス 永原和可那(芽室町) 松本 麻佑(札幌市)	7位 ■バレーボール 山本 智大(江別市)	8位 ■サッカー 熊谷 紗希(札幌市)
	銅メダル ■車いすラグビー 池崎 大輔(函館市)	5位 ■陸上400m 辻 沙絵(七飯町)	※()内は出身地 



第77回 国民体育大会冬季大会



■スケート競技会・アイスホッケー競技会
大会スローガン
「夢を感動へ。感動を未来へ。」
期日: 令和4年1月24日(月)~1月30日(日)
会場: 栃木県日光市



■スキー競技会
大会スローガン
「伝えよう感動 繋げよう絆」
期日: 令和4年2月17日(木)~2月20日(日)
会場: 秋田県鹿角市



寄附金の募集案内

北海道スポーツ協会は、スポーツ推進に関する事業を行い、スポーツを振興して、道民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に活動しております。この目的を達成するために多くの皆様方からのご寄附をお願いいたします。また、本会は平成29年4月6日より「税額控除」の対象団体となることができました。本会の活動へご賛同いただき、ご寄附を賜りました皆様へ厚くお礼申し上げます。

- 寄附金の金額**
 - 一般寄附金 : 3,000円以上
 - 特別寄附金 : 100,000円以上
 - 寄附金の申込**
 - 北海道スポーツ協会ホームページより、「寄附金申込書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、FAX、メール、郵便等でお送りください。
 - 寄附金の送金**
 - 銀行振込、現金封筒で郵送、現金持参でお願いいたします。
 - 銀行名: 北海道銀行豊平支店 ●口座番号: 普通預金 0307402
 - 口座名義: 公益財団法人北海道スポーツ協会 会長 荒川 裕生
- ※北海道銀行本支店から、本会指定の専用振込用紙(ダウンロード)にて納付の場合は振込手数料がかりません。
- 寄附金の控除**
 - 個人寄附の方は、「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができるようになりました。
 - ※税額控除による控除額については、所得・居住地等により異なりますので、ご不明な点はお近くの税務署へお問い合わせください。
 - 法人寄附の方は、「一般損金算入限度額」と別枠で「特別損金算入限度額」まで損金算入が認められます。

北海道ライフル射撃協会

当協会は1952年に前身の札幌射撃倶楽部が設立され、来年で創立70年を迎えます。日本ライフル射撃協会に加盟する団体として、国体の参加、道内での公式大会や講習会の開催、銃所持の推薦審査、競技の普及啓発などを行っています。

ライフル射撃競技は、所持許可が必要となるライフル銃、空気銃(エアライフル、エアピストル)のほか、所持許可を必要としないビームライフル、ビームピストル競技もあり、不定期ながら、「きたえーる」にてビームライフルの体験射撃会を行うなど、競技の裾野を広げているところです。

メンタルスポーツとして、精神力や集中力、姿勢が変わらないように銃を構える再現性が必要とされ、自身の心を冷静に保ち、1発1発集中して引き金を引き、中心を射抜く、これが競技の面白さであり難しさでもあります。

当協会では、銃を扱う競技として安全や法令順守の精神を浸透させるとともに、国体等での選手の活躍を目指した競技力向上のため、引き続き各事業に取り組んでまいります。



競技風景



ビームライフル体験射撃会(きたえーる)

北海道バウンドテニス協会

バウンドテニスは「いつでも」「どこでも」「だれもが」をキャッチフレーズに、1980年代初めに東京、神奈川などから普及が始まり、今では全国で約2万人の愛好者がいます。全国47都道府県全てに支部協会があり、北海道バウンドテニス協会は1994年に公益財団法人北海道体育協会(現北海道スポーツ協会)に加盟しました。バウンドテニスは屋内で手軽に、年齢に関係なく「生涯スポーツ」として健康維持、親睦を目的に楽しめるスポーツです。また、競技としても全国大会が昨年で38回を数え、毎年北海道から多数の選手が参加しています。過去には女子ダブルス(ミドル45~60才)の部で3組4回の優勝があります。北海道では6支部協会が活動しており、各支部協会主催の親睦、交流を目的とした大会と全国大会へ繋がる北海道ブロック選手権大会、全国大会北海道予選会を開催しています。またレベルアップを目指す方を対象とした「公認審判員・指導員認定講習会」「競技力向上研修会」等の講習会を毎年開催しています。

現在はコロナ禍で活動が制限されてはいますが、2024年の国民スポーツ大会での公開競技に向けて体制を整えているところです。



ゴールド北海道大会



研修会風景

北海道スポーツ少年団

活動紹介

日高町スポーツ少年団

日高町スポーツ少年団は、町内で活動する「野球、サッカー、バスケットボール、剣道、柔道、空手、リーダー会」各種目あわせて8団、約180人の団員と、各団の指導者・役員などで組織する指導者協議会で構成されています。

各単位団の活動とともに、全団でのレクリエーション等による交流会及び体力テスト会、リーダー養成研修などを実施しています。

指導者協議会では、町教育委員会と共催で、幼児や児童を対象に、運動やスポーツ、野外活動などを通じて、それぞれに関心・興味を持ち、楽しさを知ってもらうことを目的に「アクティブ・チャイルドプログラム」を実施しています。子どもたちに運動が習慣化されて運動能力の向上につながるとともに、スポーツ少年団の活性化につながるような取り組みを今後も模索していきます。

コロナ禍ということもあり、活動する上で様々な問題がある昨今ですが、対策や工夫を講じながらより良いスポーツ少年団活動ができるよう、これからも取り組んでいきます。



空手



ラフティング

岩見沢東ブラックベアーズ

ガッツだぜ！
スポーツ少年団

わたしたち「岩見沢東ブラックベアーズ」は、1980年創設で今年41年目を迎えました。ホームグラウンドは、三笠市寄りに位置する岩見沢市内でも最も歴史のある岩見沢東小学校グラウンドで、団員は1年生から6年生の総勢22名で、週に5回活動をしています。モットーは「情熱&努力『夢』限大!!」で、大好きな野球を仲間とともにとことん努力して、チームとしての「夢」や自身の「夢」を限りなく広めようと励んでいます。

7年前の2014年には学童野球の最高峰である「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」に「南北海道代表」として出場した実績もあります。そんな先輩たちに少しでも追いつけるよう、このコロナ禍ではありますが体調管理に留意して、全員で心技体に磨きをかけチームの新たな歴史を築き上げるチャレンジをしています。

「侍ジャパン」の金メダルに沸いた今年、さらに大きな夢をいただいたブラックベアーズ戦士が、さらに大きく躍動します!!



集合写真



岩見沢東BBのモットーです!

北海道スポーツ協会は「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」を設置しています。



スポーツにおける「暴力行為」・「ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)」・「ドーピング違反」・「不適切な経理」などに関する相談

相談者

団体等への調査・事情聴取などを行い、結果を報告



北海道スポーツ協会
相談窓口

相談窓口

書面による郵送・電話・FAX・E-mailのいずれかの方法でご相談ください。

公益財団法人 北海道スポーツ協会 総務・会計課

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

TEL:011-820-1701 FAX:011-833-0705

E-mail: info@hokkaido-sports.or.jp

※担当者が不在の場合は、後日こちらからご連絡をさせていただきます。

総合型地域スポーツクラブ

活動紹介

特定非営利活動法人あ・りーさだ

今年で10年目を迎えた「あ・りーさだ」は、ポルトガル語で「笑顔」を意味し、夕張市の廃校を利用した施設を拠点に、「障がい者スポーツの普及啓発」に取り組んでいます。

障がい者スポーツは「アダプテッド・スポーツ」とも呼ばれ、障がいの有無に関係なく、誰でもが楽しめるスポーツです。



あ・りーさだの社体験館（旧緑陽中学校）

これまで障がい児へのスポーツ指導のほか、様々な障がい者スポーツ（競技用車いす各種、ボッチャ、ゴールボール、フライングディスク等）が体験できるプログラムを実施、修学旅行生をはじめとする多くの皆さんに体験していただいています。

今後もスポーツを通じて、すべての人が笑顔になれる共生社会の実現を目指していきます。



修学旅行受入

特定非営利活動法人あばしりスポーツクラブ

2013年3月に『垣根を超え、同じフィールドで皆笑顔』をミッションとして立ち上げ、今年で8年目を迎えました。

設立当初は5人での船出でしたが、現在は職員25名・有償ボランティア10名で地域貢献活動をおこなっています。

活動内容は多岐に渡り、多世代に渡り活動していますが、特に地域との繋がりでは高齢者健康吹き矢教室・チャレンジド（障がい児・者）スポーツの継続的活動により地域社会との連携強化に努めております。

又、有志により今年4月には「オホーツク障がい者スポーツ指導者協議会」を立ち上げ障がい者スポーツの普及発展の一助として取り組んでいます。



高齢者健康吹き矢教室



障がい者スポーツ教室



障がい児スポーツ教室



一般社団法人HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

「北海道に障がい者スポーツの拠点をつくる」をテーマに2019年3月に設立されました。

主に「スクール活動」「チーム活動」「社会活動」の3つの事業を展開している。「スクール活動」では、4歳～高校生を対象に週一回（2時間）程度のスポーツ教室を展開している。「チーム活動」では、バスケットボール、ソフトボール、スキーなどのチーム運営の他に、個別のアスリート支援も行っている。「社会活動」では、普及イベントや講演会、自治体との交流を行っている。2020年コロナ渦でも運動できる施設として、札幌市白石区にある賃貸倉庫をリノベーションして拠点をづくり、個別指導やトレーニングを行っている。今後は、全道に活動を広げたい。



全日本車椅子ソフトボール大会準優勝



パラノルディックスキー体験



車椅子バスケットボール教室

スポーツクリ



北海道スポーツ協会では、スポーツ振興くじ助成事業（クラブアドバイザー配置事業）を受け、クラブアドバイザーを1名配置し、道内の総合型地域スポーツクラブに対し指導助言、啓発活動等を行っています。

北海きたえーる メインアリーナ床工事完了



メインアリーナ床工事完了後

メインアリーナは、平成12年の開館以来初めてのフローリング改修という大規模な改修工事を実施しました。今回の改修工事では、床下の基礎の補修と改修を実施し、フローリング材は現在の紅褐色系「アサダ」から白黄系「カバ」へと変更されたことから、アリーナの照度も以前より高くなりました。

また、長年使用したフローリングを切り出し、北海きたえーるをホームアリーナにしているレバンガ北海道（バスケットボール）とエスポラーダ北海道（フットサル）の両チームの選手にサインを書いていただき、記念として北海きたえーるのスポーツ情報資料室に展示しておりますのでぜひご覧ください。



多くのアスリートが最高のパフォーマンスを發揮できる舞台として生まれ変わったメインアリーナと北海きたえーるをよろしくお願いたします。

旧フローリング材への
 ・レバンガ北海道（左）
 ・エスポラーダ北海道（右）
 の選手たちのサイン

好評発売中 スポーツ応援米 ゆめぴりかブレンド



北海道米の最高峰「ゆめぴりか※」とふっくら食感が自慢の「ふっくらりんこ」をブレンド。冷めてもおいしいので、お弁当やおにぎりにもおすすめです。

※北海道米の新たなブランド形成協議会で定めた、厳しい品質基準に若干満たない「ゆめぴりか」を主に使用しています。



10kg・5kg・無洗米5kgがございます。

こどもの元気を応援! スポーツ応援米

この商品の売上の一部(1kg×1円)を(公財)北海道スポーツ協会に寄付し、北海道のこどもたちの心と体を育てるスポーツ振興に役立てています。

発売当初からの累計寄付額

10,971,771円

どんどん食べて応援お願いします!
 ※令和3年3月末迄

1kg = ① 1kg=1円を北海道のスポーツキッズの為に役立てています。

全道のホクレンパールライス商品の取り扱い店舗で好評発売中!

発行

公益財団法人 **北海道スポーツ協会**
 〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
 北海道立総合体育センター内
 TEL (011)820-1701 (代表) FAX (011)833-0705

道スポ協及び関連ホームページアドレス

- 公益財団法人 北海道スポーツ協会 <http://www.hokkaido-sports.or.jp/>
- 北海道立総合体育センター 北海きたえーる <http://www.kitayell.jp/>
- 公益財団法人 日本スポーツ協会 <http://www.japan-sports.or.jp/>
- 公益財団法人 スポーツ安全協会 <http://www.sportsanzen.org/>
- 公益財団法人 北海道スポーツ協会メールアドレス... info@hokkaido-sports.or.jp

仲間と一緒に楽しく

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

《上記保険の一括契約補償制度》

4名以上の
団体でご加入
ください。

対象となる事故

保険期間

掛金

補償内容

- 団体での活動中 ● 団体活動への往復中
- 毎年4月1日午前0時から、翌年の3月31日午後12時まで
- 加入手続き日が4月1日以降の場合は、加入手続き日翌日午前0時より有効。終期は翌年3月31日午後12時まで
- 掛金(1人年額800円~11,000円)は、団体の活動内容・年齢構成等の加入区分によって異なります。
- 入院・通院は1日目から補償されます。
- 補償保険金額は、加入区分によって異なります。

《資料の請求・内容照会は下記までお願いします。なお、日・月・祝祭日は休みです。》

公益財団法人スポーツ安全協会 北海道支部

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 北海道立総合体育センター内

TEL & FAX 011-820-1709

HPアドレス <http://www.hokkaido-sports.or.jp/> 【(公財)北海道スポーツ協会HP内】



mizuno.jp 0120-320-799



建物の「ライフサイクルコストの最適化」という観点から、
資産価値と収益性の向上を実現します。

まずは検索を 検索

快適をもっと、最適をずっと。

日本管財株式会社

<https://www.nkanzai.co.jp>

<お問い合わせ先>

北海道支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西5丁目1番地 TEL: 011-205-5641

●本社所在地:〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビルディング

●本店所在地:〒662-8588 兵庫県西宮市六湛寺町9-16

○建物管理運営事業(ビル管理業務、保安警備) ○住宅管理運営事業 ○環境施設管理事業
○不動産ファンドマネジメント事業 ○その他の事業



お困り事がございましたらぜひご相談ください

表彰・記念品専門店 少ロットでもまずはお相談ください

株式会社 オリジナルHOTTA

〒060-0031 札幌市中央区北1条東9丁目11-46

TEL(011)211-4147 FAX(011)211-4148

<http://www.o-hotta.com>